

2019年9月の行事予定表

1	日	礼拝式、聖餐式、教会役員会	16	月	
2	月		17	火	
3	火		18	水	聖書の学びと祈り会
4	水	聖書の学びと祈り会	19	木	祈祷会
5	木	祈祷会	20	金	朝の祈り会
6	金	朝の祈り会	21	土	
7	土		22	日	礼拝式、地区聖会(於、呉教会・他) 聖会講師(久保木聡師・鹿児島教会)
8	日	礼拝式、奉仕の日	23	月	
9	月		24	火	
10	火		25	水	聖書の学びと祈り会
11	水	聖書の学びと祈り会	26	木	祈祷会
12	木	祈祷会	27	金	朝の祈り会
13	金	朝の祈り会	28	土	
14	土		29	日	賛美礼拝(奨励=F 姉)
15	日	伝道礼拝(未定)、各会の例会日	30	月	

# 教会月報

2019年9月  
No.340

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

## 災 害

「主は地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのをご覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。」  
創世記6章5-6節

昨年、自然災害が少ない地と言われた岡山、倉敷の真備地区において大雨と共に町の真ん中を流れる小田川を中心として、周辺の堤防が13か所決壊し大災害が起こりました。瞬く間に押し寄せた洪水は2階に避難する事も出来ずに尊い人命が失われました。今なお後遺症が残っています。

さて、災害は忘れたころにやってくると言われます。今では遠い昔の話でしょうが、かつて地球の裏側に位置する南半球のチリで発生した大地震で大津波が東北地方を襲ったことはまだまだ記憶に残っていることでしょう。今も津波の襲ったしるしが石に刻まれています。

聖書の創世記6章の記述は自然災害ではなく、神様による天地創造の末に起こった人間のありさまを描いています。人は常に悪いことばかり考え、神の思いに至らないことを嘆いています。そこで、神様は決心し、大洪水を起こしてノア(ノアは神に従う無垢な人)の家族を中心として再創造(リセット)するというものです。

現在の時代、自国ファーストを掲げ、経済戦争や、軍事による覇権争いには事欠きません。分断が起こり、格差社会が増大しつつあります。

世界の人々が平和に過ごす事が出来ればと願わずにおられません。しかし、残念ながら楽観的な思いに至らないのが現実であります。それでも私たちは神様の存在を信じ、いかに悪がはびこったとしても、この世界に責任を持たれている神は、決して忘れることなく、世を支配されています。

牧師 永松 清

9月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

### 編集後記

- ◇ 厳しい暑さが続いたこの夏もようやく終わりが見えてきました。9月は行事が目白押しの教会ですが、体調管理に十分気をつけたいものです。
- ◇ 今月はK.M.姉のお証し(スコットランドレポート)とD.T.姉の奨励要旨。そしてS.O.姉の寄稿文をお届けいたしました。執筆者の方々に感謝です。
- ◇ この9月には4年ぶりの地区聖会が呉にて開催予定。また様々な行事が9月以降も計画されています。主によって魂が救われる方が導かれるように心から願います。



## 8月伝道礼拝証し K.M. 姉



自分は2017年の6月から二年の間、スコットランドの首都、エディンバラで在外研究をしていました。この滞在を通して見聞き考えたことは多くありますが、紙面の制約のためここでは一点のみ、社会の様子について述べます。

イギリスにおける経済困難と格差は日本と同様に大変深刻です。その背景は様々です。難民認定を申請中で就職が許されない、精神不調や疾患を契機とする失職、こうした障がいや病気への差別と就職・再就職の困難に加え、近年導入された簡素化された生活保護体制が多くの人々に打撃を与えています。一方、イギリスでは日本とは異なり、ホームレスの人々が見えないところに隠されてしまう傾向はありません。これらの人々の姿は多くの観光客が行き来する中心街のいたるところに見られ、立ち止まって会話をしたり、コインを分けたりする人々もかなりの割合で存在します。



留学中の K.M. 姉



「大学前の公園 Princess Street Garden」



GCP ホームページ

チャリティーや宗教機関の取り組みも活発です。今日はその一つである Grassmarket Community Project (GCP) を紹介します。GCP は主に社会的に「弱者」とされる人々に大工仕事、カフェの経営や読み書きを含む多様な技術・生涯学習コースを提供し、またその運営に積極的に関わってもらうことで人々が所属する場として機能するコミュニティセンターです。

その出発点は、急速に信徒数を失い、廃墟となった教会堂に打ち捨てられている多くの木製の会衆席でした。これらを木材として用いて新たな作品に生まれ変わらせる、それも社会的に孤立させられた人々が大工仕事の技術を身につけ、新たに共同体に参加し直す機会としていけないだろうか？

創始者の一人 Richard Frazer 牧師のこうした問いが、GCP の構想を生み出しました。

自分はここの合唱グループに入りました。メンバーの中には目が見えず盲導犬と一緒に来ている人、兵士として働いて PTSD を負い、仕事を続けられずに10年以上ホームレスとして旅をしていた人や、難治性てんかんなどの病気や学習障がいを持つ人が含まれます。しかし誰もが堂々として、ある人はリーダーシップを取り、ある人はいつも皆を笑わせ、ある人は新参者に優しく教えてくれたりします。自分はここで親友を見つけました。

スコットランド社会では、信徒数だけを見ていると、キリスト教がひどく没落しているように感じられます。

しかし、このように教会堂という建物の壁を超えて社会に赴き働こうとする動きとしては、その精神は生きていると言えます。

神学的には、人間の側の能力・人道主義への過信の危険性を指摘されてしまうかもしれません。しかし、こうした取り組みは

現代スコットランド社会の状況を正面から見据え、差別や不正義に立ち向かおうとする、誠実な、生命をかけた試みであると言えます。

(編注: お証し前半(スライド説明)部分は割愛させていただきました)



「Water of Leith とラグビーの Murrayfield Stadium」



## 私の本棚 ~マイブームは聖書~

皆さんは聖書を毎日読んでいますか。私は、読書をしない日はないという程、本好きな人生を送ってきました。しかし、聖書だけは読破できないのが悩みです。聖書を楽しく理解しながら読むにはどうしたらよいのでしょうか。壮年会は「一年12回で聖書を読む、聖書は物語る」を教材に読書会をしています。成人科では、年表を使い時代背景を理解しながら旧約聖書を読んでいます。パウロの伝道旅行など、地図をたどりながら読む方法や、一日一章等解説書も助けになると思います。私の本棚に「巨匠が描いた聖書」「アートバイブル」があります。画家が描く聖書の世界に魅了され圧倒されます。「その子らを我に来させよ

(Fritz von Uhde)」の作品では、イエス様の優しい眼差しに見入ってしまいます。

作品を見、聖書の箇所を読む時、想像力は豊かにされ静かな喜びに満たされます。

教会図書の本に「新約聖書を読破しよう！」

と章毎の目次表があるのを見つけました。

今はその色塗りを励みに読破に挑戦中です。

(S.O.姉)



## 奨励要旨 D.T. 姉 (2019、6/30)

「神の涙」 アモス書5:21~27



20年前、教会生活に復帰したとき、もういちど聖書の学びをきちんとやりたいと思い、聖書学校の旧約聖書クラスに3年間通いました。第一回の講義で先生の言われた言葉が忘れられません。『新約聖書しか読まないクリスチャンは生け花クリスチャン。はじめのうちは生き生きしているが、根っこがないのでやがて枯れてしまう。旧約聖書はクリスチャンの根っこです。しっかり学びましょう。』 私自身が“やがて枯れた”一人なので耳痛かったことを覚えています。

アモスの時代、北イスラエル王国では表面的な繁栄を謳歌するいっぽう、富の格差は拡大し、道徳は地に落ち、偶像礼拝をもって宗教的熱心を自負していた。預言者は叫びます。『正義を洪水のように 恵みの業を大河のように 尽きることなく流れさせよ。』(アモス5:24) 神様はご自身の民に、『悔い改めて、まことの神のみを礼拝せよ』『私はあなた方を愛している』と、一貫して語ってこられ、特に預言書での神は“泣き崩れておられる”のではないのでしょうか。にもかかわらず北イスラエルは聞かず、アモスの預言どおり後年アッシリア国に滅ぼされました(アッシリア捕囚)。どこまでも聖くどこまでも愛の神様が、とうとうご自身が人となってこの地に生まれてくださったできごとがクリスマスであり、その名こそイエス(キリスト)です。新約聖書のイエス様の十字架の救いによって、私たちは、はばかりことなく「天の父よ、お父さん」と祈ることができるのは、なんと幸いです。